

(仮訳)

アナン国連事務総長の

水と衛生に関する諮問委員会第2回会合へのメッセージ

2004年12月9日 東京

(パトリチオ・ツヴィーリ政策調整・関係機関業務担当事務次長補により代読)

水と衛生に関する諮問委員会の第2回会合へご挨拶の言葉をお送りすることは私の喜びとするところです。同委員会メンバーの皆様の御関与と継続的な御支援に感謝申し上げます。さらに同委員会の優れた議長の責務を果たしてきて頂いた橋本龍太郎閣下、および今次会合をホストされる日本政府に対して感謝申し上げます。

皆様方は、7月の第1回会合における重要な進歩を確かなものにするために御参集されました。私は、特に委員の皆様が、安全な飲料水、衛生、統合水資源管理に係わる国際的に合意されたゴールに至るための努力を加速するための提言を作成されることを期待します。皆様と同様に私は、これまで進展は遅々としており、また均一でないことを懸念しています。多くの国々が統合水資源管理の計画の準備に着手していません。我々は、我々が直面する障害を一層良く理解し、成功事例と成功モデルを増やすための選択肢を探求していく必要があります。これが来年4月の持続可能な開発委員会における議論の推進力であり、皆様のアイデアとヴィジョンを国連加盟国と共に共有したいと考えています。

水のサービスを全ての人々に、特に貧しい人々へ供与することは、貧困、飢餓、疾病に対する我々の挑戦が成功するために不可欠です。数十年後の深刻な水不足を予防することは未だ手遅れではありませんが、更なる遅延は大きな危機をもたらします。公平なアクセスと適切な供給を促進するより良い水管理戦略の考案を早期に進める必要があります。私は皆様の重要な議論の御成功をお祈り申し上げます。

(了)